

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6~7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	関西情報発信拠点推進事業費	麒麟のまち圏域での広域的な連携により、交流人口の増加、移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図る。	・利用者数 34,041人 ・売上金額 46,948,861円	麒麟のまち圏域の様々な魅力を、厳選食材を使用した料理や特産品の販売を行うことで、販路拡大や圏域のPRに貢献している。	本施設を圏域のPR拠点として効果的に活用・維持管理するためには、より一層本施設の魅力を高め、利用者数及び売上金額を増加させていく必要がある。 令和7年度から新しい管理運営事業者に変わり、事業者の強みを生かした麒麟のまち圏域のPRを行う。リニューアルオープンによる集客数の増加が見込まれ、近年低調であった物産販売促進が期待される。	経済観光部	経済・雇用戦略課	164
2	○	SDGs未来都市推進事業費	【環境】再生可能エネルギーの普及活動を推進する。太陽光発電パネルガラスのリサイクル材の活用を行っている企業に経費の一部を支援 2件 ・誰にでも使いやすいアプリによって持続可能なまちづくりを目指す企業に経費の一部を支援 1件 【経済】環境面の取組を活用した次世代農業の育成を推進する。 【社会】企業に対して、地域への継続的な関わりの機会を創出し、関係人口の拡大を図る。	・太陽光発電パネルガラスのリサイクル材の活用を行っている企業に経費の一部を支援 2件 ・誰にでも使いやすいアプリによって持続可能なまちづくりを目指す企業に経費の一部を支援 1件 ・地域資源（伝統文化）を活用し地域活性化を図る団体にプロジェクト経費の一部を支援 1件 ・鳥取市SDGs未来都市のステークホルダーが行う、プロモーションに対する経費の一部を支援 1件	スマホ・タブレットアプリのUI等を高齢者にも使いやすく改修し、住民サービスの向上や、持続可能なまちづくりに貢献した。他にも、太陽光発電パネルガラスのリサイクルを行なう企業や、本市の取組について広報を行う企業にも各種支援を行い、SDGs未来都市計画の推進に貢献した。	今後も太陽光発電パネルガラスのリサイクルを行う企業や再生可能エネルギー100%の電力を活用した農業を行なう企業に支援を行い、「エネルギーの地産地消」「企業による農業参入の推進」「地域課題解決型ワーケーションの推進」を中心にして、SDGs未来都市計画の目標達成に向けて取り組んでいく。	経済観光部	スマートエネルギー・タウン推進室	165
3	○	物産振興体制強化事業費	本市の特產品及び伝統工芸品等の広報及び販売を行う「鳥取ふるさと物産館（まろばる鳥取）」及び「インターネットショップとっとり市」の運営を行う観光コンベンション協会の物産部門を支援することにより、物産事業の振興及び市内事業者の販路拡大を図る。	鳥取市観光コンベンション協会の物産振興事業への補助 ・鳥取市観光コンベンション協会に物産機能を持たせ、物産振興の充実を図る。 ・民芸や加工品を展示・販売する物産展へ出店し、PR販売を行う。（R6年度：11回出店） ・令和6年度よりインターネットショップとっとり市の運営を観光コンベンション協会に移管。 とっとり市を通じて市内事業者の販売の促進及び販路拡大を支援する。（令和6年度売上件数15,970件、売上金額77,907千円） (補助金額) 令和6年度25,864千円	ふるさと物産館を軸にした物産事業に関しては、収益のみならず地元産品の販路拡大、PRが重要であり、様々な物産展への出店やリニューアルした店舗の魅力アップにより、少しづつ貢献できている。 とっとり市について、令和6年度は令和5年度と比較して売り上げが71,693千円（キャンペーン分を除く）から77,907千円に増加しており、基礎的な売上が伸びている。これにより安定的に参加事業者の販路拡大の機会提供及び市内物産のPRが図られている。	令和6年度より、実店舗である「ふるさと物産館」とインターネットショップである「とっとり市」両方の運営を観光コンベンション協会が行なっている。令和7年度はとっとり市のサイトがリニューアルされ、越境EC機能が加わる等、さらなる販路拡大につながることが期待される。今後も効率的・効果的な企画運営を行なうことで、相乗効果による物産振興及び販路拡大の施策を充実する。	経済観光部	経済・雇用戦略課	170
4	○	企業立地促進補助金	市外企業の進出及び地元企業の設備投資を促進することにより、民間投資による税収増、産業の高度化、雇用の創出及び地元企業の生産性向上を図る。	要件を満たす企業等の設備投資に対する支援 ①鳥取市企業立地促進補助金（所得向上メニュー） 1社 75,000千円 ②鳥取市企業立地促進補助金（事業拡大・雇用増メニュー） 6社 336,814千円 ③鳥取市企業立地促進補助金（コロナ対応メニュー） 3社 87,756千円 ④鳥取市情報通信関連企業立地促進補助金 2社 622千円	県外企業の進出や市内企業の事業拡大などの取組に対する支援の取組により、57億円の設備投資が行われるとともに、26人が新たに雇用されるなど、雇用機会の拡大や製造業の生産性向上に寄与した。	競合する他の自治体の取組状況や企業側のニーズなどを踏まえ、制度の見直しを行いつつ、引き続き、本市での県外企業や市内企業による設備投資の活発化に取り組む。	経済観光部	企業立地・支援課	173
5	○	関係人口推進事業費	関係人口拡大のために取り組む、ワーケーションプログラムの造成事業を支援する。	・ワーケーションネットワーク協議会の運営支援 723千円 ・ワーケーションプログラム造成・実施経費支援 実績なし	関係機関相互の情報の共有や首都圏でのPR活動などの取組により、本市のワーケーション受入環境の認知度向上と関係人口の創出に寄与した。	関係人口の増加が将来的な移住や企業誘致につながることを踏まえ、引き続き、本市へのワーケーションプログラムの誘致などに取り組む。	経済観光部	企業立地・支援課	175

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6~7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
6	○	起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費	遊休不動産を活用する民間のまちづくり事業に対する投融資を促進する。	起業・創業や遊休不動産等の活用に関する相談に応じるとともに、専門機関や支援制度等に関する情報提供を行った。 ・マネジメント型まちづくりファンド（投資） 利用事業者数 10社 ・鳥取市まちづくり融資～リノベーション創業型～に対する利子補給（融資） 利子補給対象事業者 6件 972千円	遊休不動産を活用した事業者の事業継続に対する支援の取組により、中心市街地エリアの活性化に寄与した。	引き続き、事業者の事業継続に対する支援に取り組むとともに、新規の事業者が伸び悩んでいることを踏まえ、今後の事業のあり方に関する検討に取り組む。	経済観光部	企業立地・支援課	176
7	○	キャッシュレス決済促進事業費（物価高騰対応臨時交付金）	市内事業者のキャッシュレス化対応への意欲を高める。	令和6年度補助金交付 3件 256,000円	令和6年度は3件の補助を行い、消費者の利便性の向上や事業者の経営の効率化を図ることができた。	「キャッシュレス決済導入促進事業補助金」は令和6年度で廃止とし、今後は国等の支援措置の活用も行いながら、市内事業者のニーズに応じた事業を研究・実施していく。	経済観光部	経済・雇用戦略課	312
8	○	施設整備費	「鳥取市公設地方卸売市場経営戦略」に基づき、令和4年度から令和7年度の4カ年で公設地方卸売市場の再整備を行い、コールドチェーン設備の整備や生産者の育成、市内产品的販路や取引の拡大など機能強化することで、卸売業の振興を図る。	公設地方卸売市場の再整備の実施 【基本設計を含む設計施工の一括発注】 ・市場施設（関連事業者棟の一部（花・仲卸業者・関連事業者）、青果棟）の施工 ・一部解体（管理事務所・トイレ・青果別棟・花市場の一部）	耐震強度不足であった公設卸売市場における青果棟等の施工が完了し、コールドチェーン機能が強化された。	引き続き整備を進め、通行道路と作業エリアが混在している駐車施設・構内通路を更新することで、搬入・搬出経路を明確化し効率的な物流を可能とすることで、業務生産性の向上を図る。	経済観光部	経済・雇用戦略課	377